

お客様各位

令和6年10月1日

24-15

# インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

## 検査内容変更項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記検査項目につきまして、日本胃がん予知・診断・治療研究機構等、各種ガイドラインに準じて検査内容(検査方法及び判定基準)を変更させて頂く事となりましたのでご案内申し上げます。

何卒、ご理解ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

## 記

### ● 検査内容変更項目:

■ 2453: 胃ABCD分類

◆ 変更期日: 令和6年11月1日(金)受付分より

※ 詳細につきましては裏面をご参照下さい

## ● 検査変更項目

この度、日本胃がん予知・診断・治療研究機構等、各種ガイドラインに準じて、検査内容(検査方法及び判定基準)を変更させて頂く事となりましたのでご案内申し上げます。

### ■ 2453: 胃ABCD分類

	新	旧
項目コード	2453	同左
項目名	胃ABCD分類	同左
検査方法	H.ピロリ抗体 :ラテックス凝集法 ペプシノゲン :ラテックス凝集法	H.ピロリ抗体 :EIA法 ペプシノゲン :同左
報告形式	別紙報告	同左
測定試薬	H.ピロリ抗体 :デンカ H.ピロリラテックス生研  ペプシノゲン :デンカ LASAY オートペプシノーゲン I :デンカ LASAY オートペプシノーゲン II	H.ピロリ抗体 :栄研 Eプレート栄研ピロリ抗体 II  ペプシノゲン :BML オートペプシノーゲン I :BML オートペプシノーゲン II
備考	今回の変更に伴い、「 <u>H.ピロリ抗体</u> 」判定基準が変更となりますとなります 各分類基準及び判定基準につきましては下記をご参照下さい	

### ◆ 胃ABCD分類 判定基準

区分	H.ピロリ抗体価		ペプシノゲン	
	判定	抗体価	判定	抗体価
A群	(－)	新) 10.0 未満 U/mL	(－)	新) ペプシノゲン I 値が 70.0ng/mL超または ペプシノゲン I / II 比が 3.1 超
		旧) 3.0 未満 U/mL		旧) 同上
B群	(＋)	新) 10.0 以上 U/mL	(－)	新) ペプシノゲン I 値が 70.0ng/mL超または ペプシノゲン I / II 比が 3.1 超
		旧) 3.0 未満 U/mL		旧) 同上
C群	(＋)	新) 10.0 以上 U/mL	(＋)	新) ペプシノゲン I 値が 70.0ng/mL以下かつ ペプシノゲン I / II 比が 3.0 以下
		旧) 3.0 未満 U/mL		旧) 同上
D群	(－)	新) 10.0 未満 U/mL	(＋)	新) ペプシノゲン I 値が 70.0ng/mL以下かつ ペプシノゲン I / II 比が 3.0 以下
		旧) 3.0 未満 U/mL		旧) 同上

# 別紙報告書 見本

## 《 表面 》

胃がんリスク層別化検査（ABCD分類）報告書

施設	見本病院			採取日	2024年11月1日
				依頼受付日	2024年11月1日
依頼受付番号	655	ID	123456	報告日	2024年12月13日
受診者名	リッパの川口 様			年齢	51 歳
				性別	女

判定結果				
* A群	B群	C群	D群	E群
胃がん発生の危険度				除菌群
低				高
コメント おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いでしょう。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意が必要です。未感染の可能性が高いですが、一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。				

● ペプシノゲン検査とは...多くの胃がんは胃粘膜の“萎縮”を背景として発生すると考えられており、「ペプシノゲン法」により、“萎縮”がどのくらいかを判定することができます。ペプシノゲン法陽性の人からは陰性の人よりも高い確率で胃がんなどの病気が発見されることが分かっています。

検査項目	判定	実測値	検査方法
ペプシノゲンⅠ	陰性 (-)	83.0	ラジオ免疫法
ペプシノゲンⅡ		13.0	ラジオ免疫法
ペプシノゲンⅠ/Ⅱ		6.4	ラジオ免疫法
基準値		ペプシノゲンⅠ 30ng/mL以下 かつ Ⅰ/Ⅱ比 2.0以下 (95%感度) ペプシノゲンⅡ 50ng/mL以下 かつ Ⅰ/Ⅱ比 3.0以下 (95%特異性) ペプシノゲンⅠ/Ⅱ 20ng/mL以下 かつ Ⅰ/Ⅱ比 3.0以下 (95%)	

● ピロリ抗体検査とは...胃がピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引きげになると考えられています。

検査項目	判定	実測値	検査方法
ヘリコバクター・ピロリ抗体	陰性 (-)	3.0	ラジオ免疫法
基準値		1.0 U/mL以上 (陽性)	

株式会社 臨床空間

胃がんリスク層別化検査（ABCD分類）報告書

施設	見本病院			採取日	2024年11月1日
				依頼受付日	2024年11月1日
依頼受付番号	655	ID	123456	報告日	2024年12月13日
受診者名	リッパの川口 様			年齢	51 歳
				性別	女

判定結果				
* A群	B群	C群	D群	E群
胃がん発生の危険度				除菌群
低				高
コメント おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いでしょう。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意が必要です。未感染の可能性が高いですが、一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。				

● ペプシノゲン検査とは...多くの胃がんは胃粘膜の“萎縮”を背景として発生すると考えられており、「ペプシノゲン法」により、“萎縮”がどのくらいかを判定することができます。ペプシノゲン法陽性の人からは陰性の人よりも高い確率で胃がんなどの病気が発見されることが分かっています。

検査項目	判定	実測値	検査方法
ペプシノゲンⅠ	陰性 (-)	83.0	ラジオ免疫法
ペプシノゲンⅡ		13.0	ラジオ免疫法
ペプシノゲンⅠ/Ⅱ		6.4	ラジオ免疫法
基準値		ペプシノゲンⅠ 30ng/mL以下 かつ Ⅰ/Ⅱ比 2.0以下 (95%感度) ペプシノゲンⅡ 50ng/mL以下 かつ Ⅰ/Ⅱ比 3.0以下 (95%特異性) ペプシノゲンⅠ/Ⅱ 20ng/mL以下 かつ Ⅰ/Ⅱ比 3.0以下 (95%)	

● ピロリ抗体検査とは...胃がピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引きげになると考えられています。

検査項目	判定	実測値	検査方法
ヘリコバクター・ピロリ抗体	陰性 (-)	3.0	ラジオ免疫法
基準値		1.0 U/mL以上 (陽性)	

株式会社 臨床空間

## 《 裏面 》

ABC分類	ヘリコバクター・ピロリ抗体価	
	(-)	(+)
ペプシノゲン検査	(-)	A B
	(+)	D (C) C

ABC分類	ヘリコバクター・ピロリ抗体価	
	(-)	(+)
ペプシノゲン検査	(-)	A B
	(+)	D (C) C

**A群** おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いでしょう。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意が必要です。未感染の可能性が高いですが、一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。

**B群** 少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。胃がんのリスクもあるので内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**C群** 萎縮の進んだ弱った胃粘膜で、胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査とピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**D群** 萎縮の非常に進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡などの診断を受けてご相談ください。

**E群** ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群（除菌群）として定期的に内視鏡検査を受けましょう。除菌により胃がんの発症リスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではないので、除菌後も画像検査による経過観察が必要です。

**A群** おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いでしょう。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意が必要です。未感染の可能性が高いですが、一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。

**B群** 少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。胃がんのリスクもあるので内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**C群** 萎縮の進んだ弱った胃粘膜で、胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査とピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**D群** 萎縮の非常に進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡などの診断を受けてご相談ください。

**E群** ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群（除菌群）として定期的に内視鏡検査を受けましょう。除菌により胃がんの発症リスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではないので、除菌後も画像検査による経過観察が必要です。